

平成21年度 総会

日時:平成 21年 6月 26日(金) 14:30～
場所:男女共同参画センター あざれあ
(静岡市駿河区馬淵 1-17-1)

静岡県環境ビジネス協議会

事務局:(社)静岡県環境資源協会

平成 21 年度 静岡県環境ビジネス協議会 総会 次第

1. 静岡県 県民部 環境局長 挨拶 14:30~14:35

2. 総 会 14:35~15:15
 - (1)開 会
 - (2)会長挨拶
 - (3)議 事
 - 第1号議案 平成 20 年度 事業報告
 - 第2号議案 平成 20 年度 収支決算報告
 - 第3号議案 平成 21 年度 事業計画(案)
 - 第4号議案 平成 21 年度 収支予算(案)
 - 会費の賦課徴収方法の件
 - 第5号議案 役 員 改 選
 - (4)閉 会

- 休 憩 [10分]

3. 研究会活動状況報告 15:25~15:35

4. 基調講演 15:35~17:00
 - テーマ:シャープのめざす環境戦略
 - 講 師:安達 俊雄 氏(シャープ株式会社 代表取締役副社長)

5. 交流会 17:30~19:00
(あざれあ 1 階 レストランあざれあ tel:054-273-8588)

平成20年度事業報告

1. 概要

(1) 目的

社会の隅々まで環境にやさしい製品・サービス・技術・システムが浸透した循環型社会の構築に向けて、環境関連分野に関する情報交換、技術交流、研究等の促進を図り、新たな環境関連技術・製品等の創出と既存の環境にやさしい製品・技術等の普及・促進を図ることを目的とする。

(2) 経緯

平成11年3月23日 設立総会

305企業・団体が参加（企業:212、団体:38、大学・研究機構:21、行政:34）

(3) 会員構成及び会費

1) 構成(平成21年4月1日現在)

会員数: 348(企業:232、団体:65、大学:17、研究機関:10、行政(県市町):24)

2) 会費(年会費)

企業 1万円/年

2. 事業報告

(1) 総会

開催日 :平成20年6月4日(水) 14:30~17:00

開催場所 :男女共同参画センター あざれあ

出席者 :約100名

内容 :総会 平成19年度事業報告、決算報告
平成20年度事業計画(案)、役員改選等
研究会活動報告

講演会及びディスカッション

テーマ:「地域は 企業は 日本は 何を発信するか」

講師:榛村 純一 氏(静岡県森林組合連合会 会長)

パネラー:榛村 純一 氏(静岡県森林組合連合会 会長)

大坪 檀 氏(静岡県環境ビジネス協議会会長)

芥川 知孝 氏(ヤマハ発動機株式会社 CSR企画推進部兼総務部環境・施設グループ 主幹)

コーディネーター:佐塚 充 氏(県環境ビジネス協議会企画部会委員)

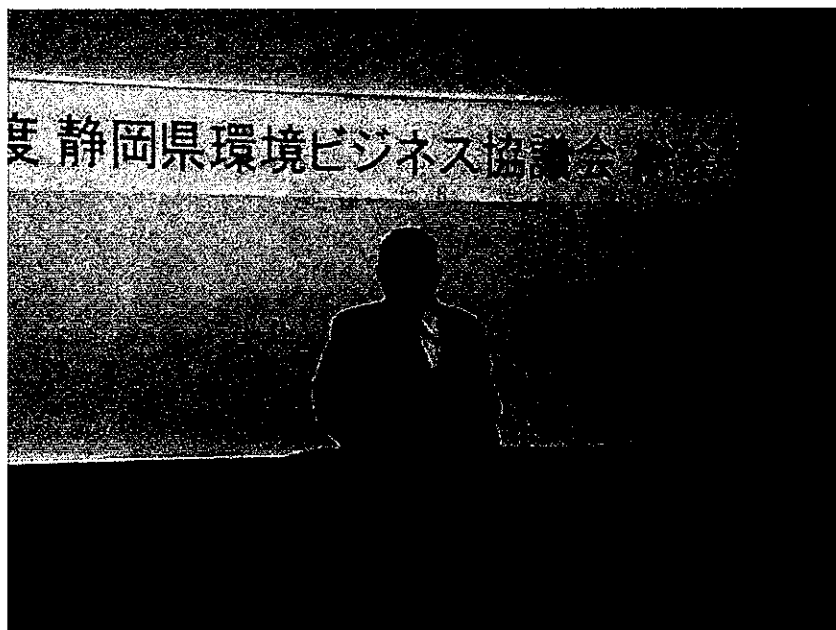
(2) エコマート静岡の運用(URL:<http://ecomart.pref.shizuoka.jp>)

静岡県では、ごみを減らし、環境への負荷をできる限り減らす「循環型社会」の形成に取り組んでいる。環境ビジネスは、今後、市場規模が拡大するものと見込まれているが、現状では未成熟な状況にあり、事業者間の連携や活発な情報交換が望まれる。

このため、静岡県では、環境ビジネスに関する情報サイトとして当サイトを運営しており、協議会はその運営に協力をしている。



平成 20 年度総会 杉崎県民部環境局長



平成 20 年度総会 大坪会長

(3)研究会・勉強会の開催

下記の通り研究会・勉強会が開催された。

1)「廃棄物の炭化リサイクル」研究会

乾留型熱分解処理システムにより炭化処理の際できる炭化物の利用方法及び普及の促進

2)「静岡県事業系紙資源リサイクル」研究会

県下の事業所から排出される紙ごみ／機密文書のリサイクルを推進し、循環型社会の形成に寄与するため、平成 17 年 4 月に発足した

3)「鉄イオンによる水質浄化機能」研究会

鉄イオンによる水質浄化方法について研究する。

4)「RCS プロデュース」研究会

物流を廻る逆流通（RCS）により、運輸部門の効率化を図ることでCO2を削減すべく、物流のあり方を研究・提案する研究会です

(4)セミナー・講演会

持続可能な循環型社会の構築に向け、企業・事業所の自主的・積極的な環境への負荷の低減を図る活動を促進していくためセミナー・講演を開催した。また本事項においては共催等も含む。

1)環境ビジネスサクセスストーリーvol.1

開催日:平成20年9月18日

開催場所:静岡産業経済会館 3階会議室

参加人数:約45名

講演 「竹から宝を取り出したかぐや姫」

(株)タケックス・ラボ 代表取締役 清岡 久幸 氏

2)環境ビジネスサクセスストーリーvol.2

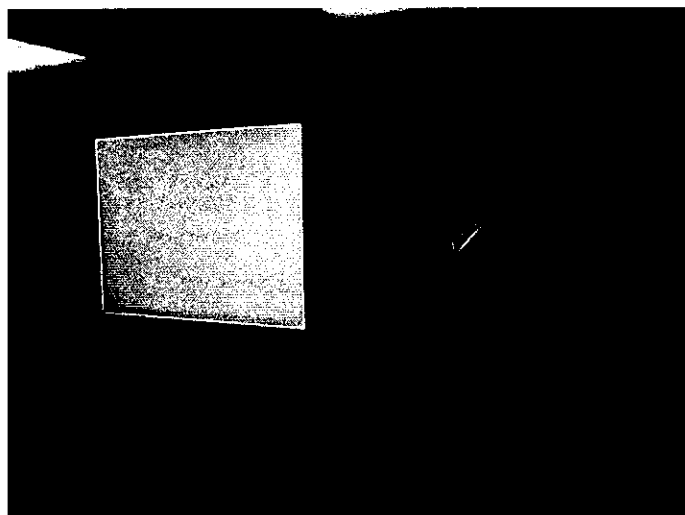
開催日:平成20年12月5日

開催場所:静岡県産業経済会館

参加人数:約40名

講演 「マイクロナノバブルの生成、その効果、産業への利用への道」

独立行政法人 産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門 高橋 正好 氏



環境ビジネスサクセスストーリーvol.2

3)地球環境とエネルギーセミナー

開催日:平成21年2月2日

開催場所:静岡県産業経済会館

参加人数:約150名

講演 「地球環境とエネルギー」

東京大学大学院 教授 小佐古 敏荘 氏

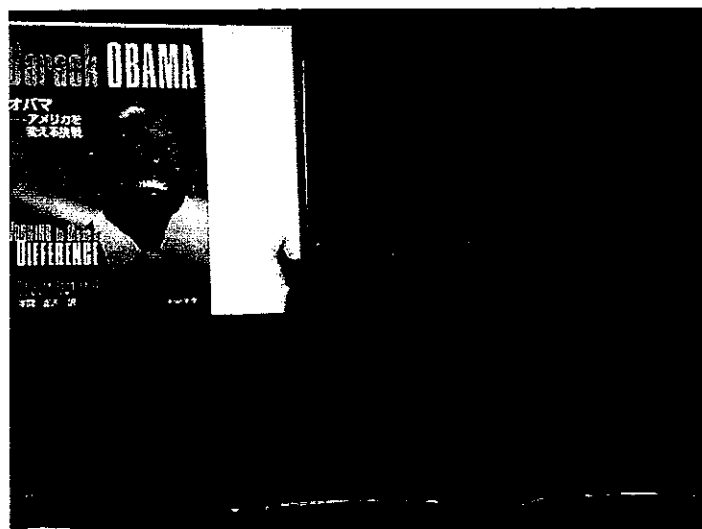
(5)その他

1)静岡市展示会「ストップ温暖化!100万人参加プロジェクト」への共同出展

開催日:平成20年7月6日

開催場所:青葉公園イベント広場

内容:協議会の活動内容紹介等



「地球環境とエネルギー」セミナー

(6)会員ネットサービスの展開

会員の開発した製品・サービス等のPR材料(情報)を、会員に向け e-mail で発信を行った。また、すべての連絡や案内を e-mail にて発信した。(20年度は No.117～No.155 の全 38 通)

(7)企画部会の開催

協議会の事業活動の積極的推進・計画のために、企画部会を開催した。

1)第1回

開催日:平成20年5月21日

開催場所:静岡県産業経済会館

内容:総会について

2)第2回

開催日:平成20年7月30日

開催場所:静岡県産業経済会館

内容:事業計画について

3)第3回

開催日:平成20年10月1日

開催場所:静岡県産業経済会館

内容:事業計画(セミナー・視察)について

4)第4回

開催日:平成20年12月17日

開催場所:静岡県産業経済会館

内容:本年度事業まとめ

平成20年度収支決算書

(収入の部)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
会員会費	2,400,000	2,290,000	
総会懇親会参加費	50,000	48,000	
雑収入	0	2,616	利息収入
前期繰越金	1,095,012	1,095,012	
計	3,545,012	3,435,628	

(支出の部)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
情報発信費	250,000	272,071	HP管理費、E-mail使用費
事業費	1,550,000	958,773	研究会・部会運営費 ¥410,562 講演会経費 ¥261,338 展示会出展費 ¥100,000 総会運営費 ¥186,873
事務費	1,100,000	1,000,000	通信費(郵便料金、TEL・FAX代)、消耗品費(フィルム、現像費)、事務局経費(人件費、会議費、資料代、雑費等)
予備費	645,012	0	
計	3,545,012	2,230,844	

ただし、各科目間流用を認める。

収入額 3,435,628

支出額 2,230,844

差引残額 1,204,784

差引残額 1,204,784 円は、次年度へ繰り越すものとする。

静岡県環境ビジネス協議会規約第10条4項の規定により、平成20年度事業報告及び収支決算書並びに支払証拠書類等関係帳簿を監査したところ、適正に執行されているものと認めます。

平成21年 6月 10日

監事

小林正和

監事

三島文夫

平成21年度事業計画(案)

1. 環境にやさしい製品・技術等の情報発信事業

環境ビジネスの促進のために会員間の情報交換、ホームページ・e-mail を利用した環境製品・サービス等のPR等を行う。

(1) E-mail を使用した情報提供・意見交換

事務局から会員に対して、セミナーや法律の改正等の情報提供、また会員の製品・サービス等の紹介、会員から事務局への要望・提案等の受付け、会員間の情報交換等を行う。

1) 事務局・会員間の情報連絡・情報提供(コミュニケーション機能)

事務局から会員へ会議の開催等の事務連絡、行政機関・会員からの環境ビジネス関連情報の提供を行う。

2) 会員間のコミュニケーション

会員同士の製品・技術等の情報連絡を行う。

(2) 環境ビジネス協議会のホームページの運営

インターネットにより、協議会のPR及び会員の持つ環境にやさしい製品・技術等のPRを全国に発信する。

(3) 環境製品等に関する HP 内での紹介・宣伝

会員の環境技術・製品・サービス等を紹介した HP 作成の継続を実施。

(4) 環境情報交換システムの活用

インターネット上で、環境にやさしい製品・技術等の情報交換を行うために、「静岡県環境情報交換システム(エコマート静岡)」の普及・促進を図る。

2. 見学会・セミナー等の開催

(1) 見学会

環境ビジネス・環境保全に対し、先進的な企業の見学会を開催する。

見学先については、CSR 推進企業、バイオマス等新エネ導入企業、リサイクル先進工場等を候補とする。

(2) セミナー・講演会の開催

企業・事業所の自主的・積極的な環境への負荷の低減を図る活動を促進していくため、セミナー・講演会を開催する。また積極的に後援・共催等を行う。

3. 研究会等の開催

(1) 会員による研究テーマの提案

総会、インターネット、会員ネットサービス等により、新規研究会のテーマ提案、参加申込を随時募集し、新たなビジネスチャンスを探求する。

(2) テーマ別研究会の開催

昨年度からの研究会・勉強会の充実、新規研究会の立ち上げを支援する。

- ・「環境対応への理解を深める」勉強会
- ・「有機性資源の CaO 処理」研究会
- ・「廃棄物の炭化リサイクル」研究会
- ・「各種廃棄物のセメント資源化」研究会
- ・「ガラスのリサイクルによる軽量素材の活用」研究会
- ・「環境共生ニュータウン」研究会
- ・「有機資源循環」研究会
- ・「浜名湖あおさの有効利用」研究会
- ・「廃プラスチック類の再生利用」研究会
- ・「LCA に関する調査・研究」研究会
- ・「土壌・地下水汚染の調査と修復技術の開発」研究会
- ・「ストックヤード設置問題」研究会
- ・「静岡県建設廃木材リサイクルシステム」研究会
- ・「合併浄化槽等小型水浄化設備有機性残留物堆肥化システム」研究会
- ・「静岡県事業系紙資源リサイクル」研究会
- ・「鉄イオンによる水質浄化機能」研究会
- ・「RCS(Reverse Circulation System)プロデュース」研究会

5. その他

(1) 展示会への出展

環境をテーマとした展示会に出展し、協議会、研究会の活動内容等をPRするとともに環境にやさしい製品の使用促進の呼びかけ等を行う。

(2) 部会の開催

協議会の事業活動等を積極的に推進するため、企画部会を開催する。

(3) 静岡県浙江省環境ビジネス企業交流

17年度から実施されている「静岡県浙江省環境ビジネス企業交流会」だが、今後も環境ビジネスについて中国との交流を深めるよう、情報交換等を積極的に実施する。

(4) その他

環境ビジネスに関わる会議等への積極的な参加。また、全国の環境ビジネス振興団体とのリンク強化を図る(主にインターネットを活用)。

(5) 10周年記念事業について

平成11年度に発足した本協議会は、本年度で10周年を迎えるため、記念事業を企画する。内容については会員から意見を

第4号議案

平成21年度収支予算書(案)

平成21年4月1日～平成22年3月31日まで

(収入の部)

(単位;円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	備 考
会 員 会 費	2,190,000	2,400,000	219 社
事 業 費 等	50,000	50,000	
前 期 繰 越 金	1,204,784	1,095,012	
計	3,444,784	3,545,012	

(支出の部)

(単位;円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	備 考
情 報 発 信 費	270,000	250,000	情報事業費等
事 業 費	1,550,000	1,550,000	研究会・勉強会経費 見学会経費、環境フェア出展費 セミナー運営費 部会運営費 等
事 務 費	1,000,000	1,100,000	通信費 (郵便料金、電話代、ファクシミリ代) 消耗品費 (印鑑代、フィルム、現像費) 事務局経費 (人件費、会議費、資料代、 雑費等) 等
予 備 費	624,784	645,012	
計	3,444,784	3,545,012	

※ 科目間の流用あり

役員改選（補充）

会長 大坪 檀（静岡産業大学学長）

副会長 3名以内

- ・ 藤村 利也（静岡ガス株式会社環境安全推進室長）【補充】
- ・ 佐藤エイ子（しずおか市消費者協会理事）

監事

- ・ 小林 正和（静岡市環境局環境創造部 参与兼環境総務課長）
- ・ 三島 文夫（社団法人静岡県産業廃棄物協会）

顧問

- ・ 松下 秀鶴（前静岡県環境ビジネス協議会会長）
- ・ 石野 功（静岡県県民部環境局長）

3. 研究会活動状況

環境対応への理解を深める研究会 企業・事業者が自主的・積極的に環境への負荷の低減を図る取組を地域の中で促進していくため、法令等の内容を検討及び環境対策の取組に関する情報交換や検討を行う。

有機資源循環研究会 生ゴミ有機性廃棄物と牛糞等を混合し、堆肥等を作る試験研究及び堆肥を使用した植物の栽培試験を行う。

炭化リサイクル研究会 炭化物の利用について技術及び用途開発を行い、炭化物のメリットをアピールすると共に、新製品の企画等を行う。

ストックヤード設置問題研究会 廃棄物をリサイクルする際にはストックヤードが有用であるとの考えから、どのような取組により設置が実現できるか研究を行う。

静岡県建設廃木材のリサイクル研究会 木質全般のリサイクルシステム確立に向け、建設リサイクル法への対応や木質系有用資源の活用、製品開発について研究を行う。

合併浄化槽等小型水浄化設備有機性残留物堆肥化システム研究会 合併浄化槽等の小型水浄化設備から発生する余剰汚泥及び厨房から排出される有機性食物残渣とを併せて堆肥化することにより、戸建による排水と有機性食物残渣系の循環を可能にするシステムの研究を行う。

静岡県事業系紙資源リサイクル研究会 県下の事業所等から排出される紙ゴミ／機密文書のリサイクルを推進し、資源循環型の社会作りに貢献するための研究を行う。

鉄イオンによる水質浄化機能研究会 鉄イオンによる環境水質の浄化機能について、これからの公共水域等の水質改善の新たな手法に向けての先鞭をつけるべく、当該浄化機能の研究を提案する。

クラピア緑化研究会 グランドカバープランツとして改良され、種苗法で登録申請された「クラピア」は東京都で指定を受け、国交省、JAなどで採択され始めた。県内での普及を図るため、校庭及び公園、道路の法面緑化を中心にテストとネットワークを構築する研究を行う。

RCS(Reverse Circulation System)プロデュース研究会 物流(動脈)を遡る逆流通(静脈)により運輸部門の効率化を図り、CO₂の削減に努めるための物流のあり方の研究を提案する。

RCS (Reverse Circulation System) による物流効率化研究会 平成 20 年度活動報告

1 研究の趣旨

我が国の CO2 の約 20% が、運輸部門から排出されていることから、物流（動脈）を遡る逆流通（静脈）により運輸部門の効率化を図り、CO2 の削減に努めるための物流のあり方を研究・提案する。

2 研究の内容

- ① 研究のテーマの基本コンセプトの構築
- ② 研究の方向性
- ③ 事例による物流の組合せの調査・検討
- ④ その他、関連事項

3 研究体制

- ① 研究主体 RCS プロデュース研究会
- ② 委託先 株式会社 エックス都市研究所

4 主要活動

日 時：平成 20 年 12 月 1 日

場 所：静岡県産業経済会館

参加者：8 名

研究内容：物流総合効率化法の概論
物流効率化に伴う国土交通省の支援事業
支援事業に係る国土交通省の予算措置 etc

日 時：平成 21 年 2 月 14 日

場 所：静岡グランドホテル中島屋

参加者：12 名

研究内容：国土交通省支援事業への提案に向けたコンセプト
事業拠点となるローソンへの参加・協力と対応
事業対象地域の選定と地方自治体への協力対応 etc

5 平成 21 年度活動への対応

国土交通省支援事業提案（内定）に伴う協議会設置及び構成団体への依頼、並びに事業対象地域に於けるケーススタディ調査の実施。

鉄イオンによる水質浄化機能研究会 平成 20 年度活動報告

1 研究の趣旨

河川・湖沼等の公共水質の浄化に向け、従来から文献等に於いて発表されている鉄イオンの浄化機能についての具体的な検証と活用方法を研究・提案する。

2 研究の内容

- ① 研究のテーマの基本コンセプトの構築
- ② 研究の方向性と課題整理
- ③ 機能検証実験
- ④ その他、関連事項

3 研究体制

- ① 研究主体 NPO 法人日中環境経済中心
- ② 委託先 静岡大学工学部（担当：松田准教授）

4 主要活動

日 時：平成 20 年 7 月 19 日

場 所：静岡市産学交流センター

参加者：26 名

活動内容：第 1 回研究成果報告会

※浄化材機能検証実験の報告

日 時：平成 20 年 12 月 21 日

場 所：ホテル・プリヴェ静岡ステーション

参加者：27 名

活動内容：第 2 回研究成果報告会

※浄化材機能検証実験の報告

5 平成 21 年度活動への対応

平成 20 年度に於ける浄化材機能検証実験によって鉄イオンによる浄化機能のデータは収集されたが、より確実なデータ構築に向け浄化材機能検証実験を継続すると共に、浄化機能のロジック構築を図る。

また、烏鎮水郷（中国浙江省）に対する具体的な浄化事業への企画提案を行う。

09.06.22 (Mon)

作成 : 勝又敏雅

NPO法人炭化リサイクル研究会 平成20年度活動報告及び平成21年度活動計画

平成20年度主な活動

1. 産官学共同研究

研究テーマ : 「新規な余剰汚泥減容化システムの開発と事業性調査」

研究委託者 : 静岡市

研究主体 : NPO法人炭化リサイクル研究会

共同研究者 : 静岡県工業技術研究所、静岡大学

期間 : 平成20年7月8日～平成21年2月27日

研究発表 : 平成21年3月17日

2. 静岡県環境森林フェア出展

出展テーマ : 竹炭利用のハイドロカルチャー
炭入りコンクリート護岸ブロック
砂ゴケ植生炭化ボード

期間 : 平成20年11月13日～平成20年11月16日

課題

炭化リサイクルについて、処理コストの高騰等により限界が見えてきた。
現在は、炭化に拘らず資源循環を提唱できる研究会に発展するための過渡期にある。

平成21年度活動計画

1. 上記のとおり、炭化に拘らず資源循環を提唱していく。
さまざまな方面の知力を得たいがため新規会員の募集、新規研究への取組を継続させていく。
2. 会員自信の啓発の為、各地の資源循環リサイクルの事例等を積極的に視察に行く

平成20年度(H20.4.1.~H21.3.31)

NPO法人 炭化リサイクル研究会 活動報告

日 付	活 動 内 容	場 所	会 員 出席数	備 考
4月10日	定例会議	産業経済会館	4名	
5月8日	定例会議	産業経済会館	7名	
6月12日	定例会議	産業経済会館	6名	
6月26日	20年度総会	産業経済会館	13名	
7月8日	産学共同研究事業 委託契約締結	静岡市産学 共同センター	8名	新規な余剰汚泥 減容化システムの 開発と事業性調査
7月10日	定例会議	産業経済会館	7名	
8月7日	定例会議	産業経済会館	7名	
9月18日	定例会議	産業経済会館	8名	
10月4日	環境フェア 準備会議	産業経済会館	8名	
10月9日	定例会議	産業経済会館	8名	環境フェア準備
11月13~16日	環境フェア	ツインメッセ	18名 (延人数)	
12月11日	定例会議 産学共同研究 中間検査	産業経済会館	12名	
1月22日	定例会議	産業経済会館	7名	
2月12日	定例会議	産業経済会館	7名	
2月27日	産学共同研究事業 最終報告	静岡市産学 共同センター	4名	
3月12日	定例会議	産業経済会館	5名	
3月17日	産学共同研究事業 成果発表会	静岡市産学 共同センター	7名	

平成20年度静岡県事業系紙資源リサイクル研究会

自:平成20年4月1日

至:平成21年3月31日

本研究会は、県下の事業所から排出される紙ごみ／機密書類等の紙資源のリサイクルを推進し、資源循環型の社会作りに寄与するため、平成17年に発足した。平成20年度は、自治体、企業、学校が参加した紙資源のリサイクルネットワークを構築し、一部の地域より古紙回収をスタートした。活動実績は以下の通り。

■活動実績

(1) 執行部会を年3回、総会を年1回開催

開催日は以下の通り

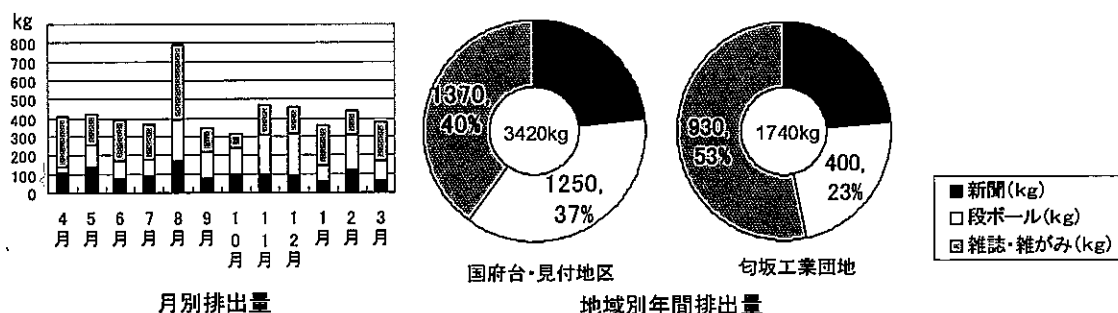
- ・執行部会：平成20年10/29、12/18、平成21年2/26
- ・総会：平成20年8/6

(2) 磐田市において古紙回収を12回(毎月1回)実施

磐田市・環境衛生課との協働活動として、今年度は、磐田市の国府台地区・見付地区、匂坂工業団地の事業者を対象に、古紙(新聞紙、段ボール、雑誌・雑紙の3種類)の回収活動を開始した。

- ・回収量(月平均)：430kg、
- ・排出事業者(月平均)：10社

〈回収量の内訳〉



■平成21年度の活動

昨年度の活動を踏まえ、排出事業者の利便性を考慮し回収BOXを常設して回収量の増加の推移を調査する。(回収BOXの設置場所4ヶ所を目標)

連絡・問合せ先：静岡県事業系紙資源リサイクル研究会 事務局

平成21年度担当：アンドー物流／安藤 TEL：0538-44-1130 FAX：0538-44-1244

※平成20年度 事務局 担当：鈴木/鈴木

